

どう集める? 私たちのお金

収入がなければ町の事業は行えない!

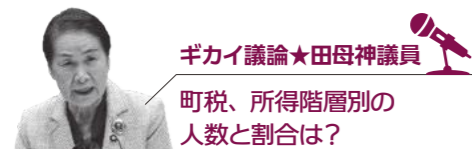
Part.1 カギになるのは「個人所得増」

令和2年度一般会計予算 116億円

自主財源 59.5億円 (51.3%)			依存財源 56.5億円 (48.7%)			
町税 48.8億円	財調より繰入 貯金取り崩し 4.1億円	その他 6.6億円	その他 20.4億円	地方債 借金 9.4億円	地方交付税 交付金 10.6億円	国庫補助 15.9億円

注) 1000万円未満切捨て表記しているため、合計が合わない場合があります。

**解説** 自主財源の多くを占めるのが町税。地域の経済力は、税収に大きく影響します。東京都や埼玉県南部との格差は明らか。原因は、高所得を得る機会や選択肢があるか否かです。これは定住促進に直結する課題でもあります。



総所得金額	該当者数	構成割合
1円~100万円	6,150人	30.3%
~200万円	5,602人	27.6%
~300万円	3,747人	18.5%
~400万円	2,008人	9.9%
~500万円	1,120人	5.5%
~600万円	746人	3.7%
~700万円	434人	2.1%
~800万円	187人	0.9%
~900万円	79人	0.4%
~1,000万円	47人	0.2%
~1,500万円	106人	0.5%
~2,000万円	34人	0.2%
2,000万円超	33人	0.2%

全体のうち76.4%が300万円以内、91.8%が500万円以内です

(平成30年度決算)



ギカイの視点

古今東西、「仕事のある所、稼げる町」に人は集まる。所得が上がり、生活が良くなり、税収が上がるからこそ、インフラ整備や福祉の向上も図れる。本田技研工業株式会社の県内工場集約を機に、好循環の歯車を回したい。

一緒に考え、好循環を生み出そう

DATA 一緒に考えよう これも財源!! ふるさと納税

各自治体とも歳入増(収入増)には大変苦労しています。いま話題の「ふるさと納税」。“返礼品に走りすぎているのでは?”との指摘もありますが、町の貴重な財源、地元産品のアピールの場であることも事実です。

第1位 秩父市 3.82億円	第2位 深谷市 2.77億円	第3位 飯能市 2.29億円	第4位 三芳町 2.27億円	寄居町は 県内40位 819万円
----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	------------------------

総務省 ふるさと納税ポータルサイト「各自治体のふるさと納税受入額及び受入件数(平成20年度~30年度)より平成30年度データ



皆さん、町の財源のことを考えたことがありますか。本年度予算116億円のうち、町の自主財源は51.3%、残りの48.7%は国や県からのお金、そして借り入れです。お金の使い方(歳出)も大切ですが、町が事業を行うには、同時に集め方(歳入)を考えることも重要です。「町民一人ひとりの収入(稼ぎ方・働き方)」という点からも、皆さんと一緒に考えていきます。



上の写真は町田昌之さん(桜沢) 関連記事P.12